

学校経営にあたって

1 校訓を生かした学校経営

校訓「磨光(自分にきびしく) 和敬(人にやさしく) 創造(日々新たに)」

本校は、昭和46年に増田・西成瀬・上畑の3中学校が統合し、今年度は51年目を迎える。統合以来、校訓「磨光・和敬・創造」を本校の理想とする教育理念として定め、その後それを受けた「自分にきびしく・人にやさしく・日々新たに」をモットーとして取り入れ、受け継いできている。しかしながら、時間の経過とともに、この校訓が生徒たちに十分意識され、精神的な支柱となっているとはいえない状況が見られてきた。そのため、昨年度からこの校訓の精神を、学校経営や生徒の学校生活に反映させていく取り組みを進めている。そしてこの校訓の中に「増中生」に求められる資質・能力が内在されていると考え、校訓とこれからの時代を生きる生徒たちに求められる資質・能力とを結びつけて、育成を図っていきたいと考えている。

また、今年度は新たな50年に向けての第一歩の年ということで、これまでの良き伝統を継承しながらも、さらに新しい時代の動きに対応し、様々な社会的変化を乗り越えていくことができるように、「挑戦」する気持ちをもって取り組んでいきたい。さらに、これまでの地域の方々や様々な機関との連携をさらに強め、「協働」することにより、持続可能な社会の創り手となることのできるような生徒を育てていきたい。

2 学校教育目標と身に付けさせたい資質・能力

学校教育目標「豊かな感性と知性を身に付け、たくましく未来を切り拓く生徒の育成」

学校教育目標の実現を図るために、校訓と結びつけた身に付けさせたい資質・能力を次のように考えている。

「磨光(自分にきびしく)」では、生徒たちが目標に向かって自分を磨くために挑戦し、主体的に学びに向かっていく姿を求めている。これに係る資質・能力は、「自己の学びを高める力」と「主体的に学ぶ力」である。この力を発揮し、主体的に知識や技能を獲得していききたい。

「和敬(人にやさしく)」では、互いに認め合いながら、対話を通して考えを広め、深める姿を求めている。これに係る資質・能力は「協働して学ぶ力」である。対話を通して見方・考え方を働かせて考えを広げ深め、思考力・判断力・表現力を育成していききたい。

この「磨光」と「和敬」を旨とした教育活動や学校生活によって、「豊かな感性と知性」を身に付けさせていきたい。

さらに「豊かな感性と知性」を駆使しながら求められるのは、「たくましく未来を切り拓く」資質・能力である。この資質・能力は「創造(日々新たに)」に関わる力としての、「構想し改善する力」と「思考して実行する力」である。これまで学び、身に付けてきた力を活用・発揮して、主体的に創造していく姿を求めている。社会の諸課題に対応し、持続可能な社会を形成するために必要な資質・能力と考える。実生活や地域や社会の課題をとらえ、生き方を構想したり、改善を図ろうとするなど、多様な他者と主体的に関わって学び合うことで、この資質・能力を育成していくことができると考える。

今年度本校は、増田小学校と共にコミュニティ・スクールのモデル校の指定を受けている。これまで行われてきた地域との連携・協働をさらに拡大しながら、地域の一員としての自覚を高めるとともに、問題の発見やその解決に挑んでいきたい。そして、さらに視野を広げ地域・社会・世界を一体化して、思考したり実行したりできる生徒の育成を目指していききたい。

このような資質・能力を身に付けさせる教育活動を活性化するために、昨年度から次のキャッチフレーズを示して、教職員、生徒、地域や保護者と共に取り組んでいる。

「増田にくらす地球人 ～たくましく しなやかに～」

本校で最終的に身に付けさせたい資質・能力は、持続可能な社会を形成するために必要な資質・能力である。それが培われた生徒、それが備わった人間の姿を「増田にくらす地球人」として象徴的に示した。実生活や地域、社会の課題は、多くが乗り越えるのに困難なものであり、それらに立ち向かうためには、ふれずに折れない「たくましさ」が必要である。しかし、立ち向かって克服するだけでは、「持続可能な社会を形成する」ことはできず、むしろ困難なことを受け入れながら学んだりピンチをチャンスに変えたりする等、「しなやかさ」が大切になってくる。そのことを表すサブタイトルを付加することで、本校が目指す方向性を生徒等と共有しながら、学校教育目標の具現化に取り組んでいきたい。



3 目指す学校像

- 《生徒にとって》 自分も仲間も力が高まっていることを実感し、「明日も行きたい」と思う学校
- 《保護者にとって》 子どもの充実感や感性・知性の成長が分かり、安心して通わせられる学校
- 《地域にとって》 「地域の子どもを育てる場」「地域活性化の拠点」として愛され支持される学校
- 《教職員にとって》 風通しがよく、適切な同僚性により、互いに信頼し合って働ける学校

4 目指す生徒像

- ・自ら課題を発見し、主体的に問題解決を図ろうと挑戦する生徒
- ・多様な他者と協働し、ふるさとを愛し、地域のために貢献しようとする生徒
- ・たくましさとしなやかさをもち、広い視野で考え、行動できる生徒（「増田にくらす地球人」）

5 資質・能力を身に付けさせるための重点実践事項

今年度の **Ma Su Da Chu + One**

【 M 】 学びの質を高めるための授業改善

- ・身に付けさせたい資質・能力を、教師も生徒も意識した授業づくり
- ・「関わりタイ♥夢」を核とした協働的・対話的な授業づくり
- ・一人一人の学ぶ力を伸ばす指導と評価の一体化及び評価活動の工夫・充実
- ・生徒の言葉の力・表現力を育成するためのN I Eや図書館教育，読書活動の推進
- ・I C Tを活用した協働の学びの推進と計画的な研修の実施
- ・特別支援学級や通常の学級に在籍する、学習や生活上で困難を伴う生徒一人一人の、教育的ニーズに応じた適切な教育的支援の充実

【 S 】 全体計画に基づく積極的な**生徒指導**の実践

- ・自尊感情や自己有用感の醸成と居心地のいい学級づくり・集団づくり
- ・きめ細かな生徒理解といじめ・不登校等の早期発見と組織的対応の強化
- ・生徒の主体的な活動や増田小学校との連携・交流によるいじめ・不登校等の未然防止
- ・実態に即した実効性のある情報モラル教育の実践

【 D 】 道徳科の授業を要とした**道徳教育**の推進

- ・「考え、議論する」道徳を目指した、全教員体制での研究推進（ローテーション道徳等）
- ・評価実践の積み重ねによる、より充実した生徒の変容の見取り
- ・体験活動等の活用や家庭・地域との連携による道徳性の涵養

【 C 】 地域に根ざした**キャリア教育**の充実

- ・ふるさと教育を基盤とした全体計画に基づく基礎的・汎用的能力の育成
- ・蔵史めぐり、除雪ボランティア等の体験活動、地域貢献の推進
- ・増田小学校や増田高校との連携によるキャリア発達を促す構想と実践

【 +One 】 自他を大切にする**健康・安全教育**の推進

- ・新型コロナウイルス感染症等への対応に伴う環境衛生の取組の推進
- ・自他の生命や健康を守る教育活動の日常化及び【MSDC】における教材化・活動化
- ・防災や感染症対策を中心とした危機管理意識や安全意識の高揚

6 目標の達成や重点実践事項の具現化のために

【戦略1】 校訓やキャッチフレーズ、資質・能力の掲示を校内に取り入れたり、授業や学校行事等でどんな資質・能力を身に付けたいのか教職員も生徒も意識できるようにしたりしながら、意図的・計画的に資質・能力を育成していく。

【戦略2】 学校の小規模性を生かし、学校と地域のニーズを擦り合わせた特色ある取組や地域学校協働活動を推進し、地域の一員としての自覚を高め、地域のために貢献する気持ちを育んでいく。

【戦略3】 一小・一中という小学校と連携しやすい強みを生かして、授業や諸活動での交流を促進し、学力の向上やいじめ・不登校等の未然防止につながる活動を進める。

【戦略4】 新型コロナウイルス感染症対応や教職員の働き方改革を視野に入れながら、学校行事や諸活動について、ねらいや目標を基準にして変更、廃止、新設等を柔軟に行っていく。